

PR



自分の力で立ち上がりたい
その思いを支援する



起立補助装置 アシスタグ

- 寸法 / W365×D385×H60mm ●重量 / 3.2kg
- 適応体重目安 / オレンジ55kg ●駆動部 / ガススプリング、ばね(SWP-B)
- 材質 / フレーム=アルミニウム、クッション=ウレタンフォーム、カバー=高機能レザー(耐性アルコール・抗菌機能)
- 動作範囲 / 座面角度=0~35° ●上昇時間 / 約3秒
- 動作量 / 0~270mm

- 特許第6537217号
- TAISコード:02158-00001

利用者、介護者、両者をサポートする 起立補助装置

01

前にかがむ



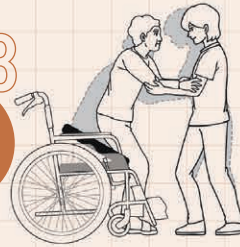
02

お尻を上げる



03

立ち上がる



前傾姿勢から起立姿勢へと自然に移行。介護者は「抱える」のではなく「支える」動作になる。

ベッドや椅子からスッと立ち上がる。医療や介護の現場では、この何でもない動作に悩む人が多い。立ち上がった後に歩行器で歩くことはできても、立ち上がるまでがひと苦労。そこで看護職や介護スタッフをサポートすることになるのだが、抱えると自身に負荷がかかることは避けられず、腰痛が職業病に。つまり、患者や高齢者本人だけでなく、介護者にとっても大きな悩みの種なのだ。

この介護者の腰痛リスクを重く見た厚生労働省では、平成25年の「職場における腰痛予防対策指針」の中で、人力で抱え上げる行為を原則禁止とした。だが、電動による起立支援機能を備えたりフットアップチェアなどはコストがかかることもあり、予算がない現場では、手すりにつかまって立ち上がるのをサポートするくらいしか手立てがないのが実情だ。ますます高齢化が加速する中で、この問題を放置しておくところに深刻化するのには必至。何とか解決できないか……という想いから製造販売しているのが、OCTUG株式会社の特許取得済み起立補助装置「アシスタグ」だ。

自然にお尻を押し上げることで
そのまま立ち上がりの体勢へ

このアイテムは、座っている人自身の力をうまく作用させるよう設計されたクッションと考えればよいだろう。立ち上がろうとすると、クッションがお尻を押し上げて身体の重心を前方に傾け、楽に立ち上がれるようアシストしてくれるのだ。

使用方法はいたって簡単。車椅子やダイニングチェアなどの座面に敷いたら、あとは深く腰掛けてもらい、本体のレバーを操作するだけだ。ロック状態にすると、座っている間は身体が安定するので、立ち上がる時に再びレバー操作で解除すればOK。あとは、かがむように上体を前方に沈めるだけで重心が移動し、座面がお尻を押し上げてくれるという寸法だ。

もちろん、介護者が身体を抱える必要はない。肘を支えながら手前に引き寄せたり、上体を上方に誘導するだけで十分に支援動作となるので、負担は大幅に軽減される。本体は昇降レバー付きの座布団型なので、さまざまなタイプの椅子で使用可能。電動式装置のような大掛かりなコストもかからず、より気軽に導入可能だ。

患者や高齢者の「自分の力で立ち上がりたい」という想いに応えるとともに、病院やリハビリセンター、介護施設などで働くスタッフの腰痛の予防ツールとしても期待大のアシスタグ。医療・介護現場の働き方改革の一環としても、有効な環境改善策のひとつになりそうだ。



OCTUG株式会社

東京都杉並区西荻北2-21-15-3

MAIL: info@octug.co.jp

https://www.octug.co.jp/

